

スーパー・プロフェッショナル・ハイスクールを目指して

—台湾の「餐旅類」新設の意義に見る日本の商業高校の未来像—

Aiming for Super Professional High School :

Future image of the Japanese high school in the significance of new
establishment of "Hospitality type" in Taiwan

紙矢 健治・近藤 英夫・陳 千浩・陳 福川
李 一民・甘 唐 沖・李 岳 道

分類：産業教育 (607)

キーワード：スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール、台湾、餐旅

I. はじめに

筆者1(紙矢)は2018年春、山口県立徳山商工高等学校観光甲子園の参加を筆者2(近藤)より協働による参加を依頼され、これまで様々な取り組みを踏まえて、3つの案を提出し、観光甲子園ではそのうちの2つが審査員特別賞と奨励賞を受賞した¹。訪日部門 審査委員長特別賞に「すべての人に幸せを！これからの商業高等学校の新次元を」、訪日部門 審査員奨励賞に「すべての人に幸せを！シルバーツーリズム・ロングステイと～シルバー間交流をめざして」がそれぞれ受賞したのであるが、この取り組みの中で、筆者1(紙矢)が2011年度から進めてきた台湾と山口県の交流のアイデアが、徳山商工高校の生徒諸君によってより具体的な取り組みとしてつなげられることになった。本稿では、台湾の餐旅教育を中心に高級職業学校から技術学院までの段階の高大接続の状況を紹介した上で、徳山大学の持つ台湾ルートを活用し、徳山商工高校を拠点に展開できる新たな試みを整理し、徳山大学と徳山商工高校を軸にとりわけ周防地区と高雄市・台南市・屏東県を結ぶ商業科の実践テーマを紹介したい。将来的には地域ぐるみで取り組む国際セールスの拠点としてスーパー・プロフェッショナル

¹ 観光甲子園ホームページ <http://www.kanko-koshien.com/final/>

ル・スクール²への採択を目指すことのできる実践の場をつくりたい。なお、餐旅教育とは、ホスピタリティ・エデュケーションと翻訳されるが、米国コーネル大学³やローザンヌホテルスクールの先進例をモデルに餐旅教育の父と賞される李福登教授の発想から出発した。李福登教授は国立高雄餐旅大学の創立者である⁴。

II. 筆者について

さて筆者1(紙矢)は、2011(平成23)年度から筆者3(陳千浩)、筆者4(陳福川)、筆者5(李一民)、筆者6(甘唐沖)、筆者7(李岳道)と連携により、OSP(B)(授業科目名: Overseas Study Program B)を台湾の高雄市にある国立高雄餐旅大学(以下、高雄餐旅と略す)を拠点に進めてきた⁵。同大学は、1995年12月に前々身の国立高雄餐旅管理専科学校として発足し、2000年8月に国立高雄餐旅学院となり、2010年には総合大学化し、国立高雄餐旅大学となった⁶。2009年度にはホスピタリティ・ツーリズム類で世界ランキングが35位となった⁷。筆者1(紙矢)は、高雄餐旅創立の1年目に赴任し、2010(平成22)年度の離任まで専任教員をつとめた⁸。高雄餐旅は1995年12月に創立され、第一期学生は1996年2月

2 文部科学省スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/shinkou/shinko/1366335.htm

3 School of Hotel Administration, <https://www.cornell.edu/> <https://sha.cornell.edu/>

4 紙矢健治等(2013)「台湾餐旅教育簡史(1977-2001)李福登氏の貢献を中心に」『徳山大学論叢』(76号)、p105-118。

<http://ypir.lib.yamaguchi-u.ac.jp/tu/Detail.e?id=93520130704144817>

5 国立高雄餐旅大学 <https://www.nkuht.edu.tw/>

6 台湾の学制では、日本の5年制高等専門学校と2年制短期大学を一括して専科学校と称する。5年制専科学校を「五専」、2年制専科学校を「二専」と称される。また、学部が2学部以下の大学は「学院」と呼ばれ、3学部以上の大学を「大学」と呼ぶ。3学部以上あって文部科学省に相当する教育部の認可がなければ、依然として学院のままである。

7 「Journal of Hospitality & Tourism Research」35(3):381-416・June 2011
https://www.researchgate.net/publication/254115826_Hospitality_and_Tourism_Research_Rankings_by_Author_University_and_Country_Using_Six_Major_Journals_The_First_Decade_of_the_New_Millennium

8 日本産業教育学会会員である。

に入学した。筆者1(紙矢)の赴任は1997年2月である。高雄餐旅は世界的なホテルマネジメントの専門大学であるローザンヌホテルスクール (Ecole hôtelière de Lausanne) といち早く交流協定を締結し、学内実習、校外実習(短大部の1年次後期及び2年次の後期の計1年間の有給実習)、海外研修の必修化を行い、またアジアとも言われた地上8階地下1階の実習教学ビルを創立時から使用し、高度シミュレーション設備による実地教育が行われた⁹。筆者2(近藤)は徳山商工高校商業科主任である。既述の通り、2018年度から台湾を拠点とし、筆者1(紙矢)と協働で高大接続の連携を行い、後述する取り組みを行うところである。筆者3(陳千浩)は高雄餐旅の餐旅学院専任助理教授である。台湾では最も著名なソムリエである。世界的コンテストに醸造したワイン(埔桃酒)を出品し、数々の受賞歴がある。2018年度は英国ロンドンで行われたインターナショナル・スピリッツ・チャレンジ (International Wine and Spirit Competition) で金賞を受賞した。このコンペティションは、サントリーの「山崎」が2003年に同じ金賞を受賞したことで知られている¹⁰。また2019年度はパリで開催された世界的コンペティション「Vinalies Internationales」で金賞を受賞した¹¹。筆者4(陳福川)は高雄餐旅の観光学院専任助理教授である。エバー航空出身の実務家教員であるが、国立中山大学社会科学博士学位を有する。筆者5(李一民)は、国立高雄科技大学の専任教授である。筆者6(甘唐冲)は、高雄餐旅の観光学院専任副教授である。また旅運管理系主任も兼ねる。筆者7(李岳道)は高雄医学大学通識教育中心兼任講師である。

⁹ Ecole hôtelière de Lausanne ローザンヌホテルスクール <https://www.ehl.edu/>

¹⁰ IWSC ホームページ <https://www.iwsc.net/>
サントリー「山崎」が International Wine and Spirit Competition 金賞受賞(2003) <https://www.suntory.co.jp/whisky/distillery/isc/>

¹¹ Vinalies Internationales <https://vinalies-internationales.com/fr/>
自由時報 (2019年3月) <https://news.ltn.com.tw/news/life/paper/1272967>

Ⅲ. 台湾の学制の特色

台湾(中華民国)の教育制度は基本的に日本の小学校6年、中学校3年、高等学校3年、大学4年の制度と同じである。また5年制の高等専門学校や2年制の短期大学もある。

台湾では国民小学(小学校)、国民中学(中学校)、高級中学(普通科高校)、高級職業学校(職業系高校)、2年制専科学校(短大)、大学・独立学院(4年制大学)、科技大学・技術学院(4年制・2年制大学)の呼称をそれぞれ用いる。ただ学制に限って際立って異なる点と言えば、専科学校(短大、高専)卒業者を専門に受け入れる2年制技術学院(大学)が独自に存在することである¹²。日本でも短大・高専卒業者が大学の3年次に編入する事例は多いが、受け入れる大学は4年制大学のみであり、大学の3年次と4年次だけの短大・高専卒業者向けの大学はない。

Ⅳ. 高級中学・一般大学と高級職業学校・専科学校・技術学院

台湾の教育制度の特徴としてまずあげられるものは、高校から大学にわたる段階において、一般的な学術教育を行う「高級中学」と「大学」「独立学院」の系統(いわゆる第一国道)と日本で言えば職業教育を行う「高級職業中学」と「科技大学」「技術学院」及び「専科学校」の系統(いわゆる第二国道)が並行して存在することであろう。さらに特徴的なことは教育部の所管部局の体制では「高級中学」を「中等教育司」が、「大学」「独立学院」を「高等教育司」がそれぞれ別々に統轄するのに対し、職業教育系統の「高級職業学校」「科技大学」「技術学院」「専科学校」はすべて「技術及職業教育司」の所管である点である。技術職業系の大学は現在67を数え、台湾の大学の半数以上を占める。

¹² 我国教育制度 https://stats.moe.gov.tw/files/ebook/Education.../104edu_app1.pdf

V. 技術及職業教育

2001年度に若干の規制の緩和が行われたが、台湾において普通科高校に相当する高級職業学校を卒業した者は、原則として大学(3つ以上の学部をもつ総合大学)・独立学院(3つ以上の学部をもたない単科大学)に進学する。高級中学は教育部中等職業教育司が所管し、大学・独立学院は高等教育司が所管する。この部分が日本の制度と変わらない。台湾の教育制度の最大の特色は高級職業学校と職業系大学(科技大学・技術学院、以下、特段の場合を除き職業系大学と略す)の2つの段階を一括して技術及職業教育司が所管する点である。(表1参照)教育部の同じ部局が職業系高校と職業系大学の2つの段階を直轄できるため、台湾では高校から大学まで連続性のある一貫した7年間高大接続の専門的職業技術教育を実施できるシステムが確立されている。1949年の国共内戦終結後、中国大陆と対峙するという厳しい国際環境にあつて、短期間に製造業からハイテク分野を中心に発展を続けてきた台湾の強さの裏には、一貫した職業教育の制度が大きく寄与していたことは日本ではあまり知られていない。

最も簡潔な例として挙げるなら、日本語教育の場合、職業系高校では応用日本語科、職業系大学では応用日本語系があり、高校段階で初級から中級までの段階を習得し、大学では引き続いて中級から高級の段階を習得する¹³。「応用」という名称は主に観光や国際貿易、企業管理等の分野の専門知識と日本語を応用させるということである。日本の語学教育が弱いのは外国語教育の場合、教授法の方法論の問題もあるやも知れないが、台湾との制度的比較においては高等教育司所管の一般の大学に入学してはじめて外国語の「あいうえお」に相当するものが学習しはじめるのに比べると、職業系大学応用日本語系は圧倒的なアドバンテージがある。具体的には、国立台湾大学、国立政治大学、中国文化大学、東呉大学、淡江大学、天主教輔仁大学、静宜大学、東海大学、明道大学など日本語学科のある一般の大学の場合、大学に入学して来たらから50音を習うのが普通であるので、高級職業学校で日本語を学んだ学生の場合、技術学院・科

¹³ 育達教育中心 <http://2016.twowin.com.tw/submenu/index/top-student-favorite/1194>

技大学においては引き続き中級からN1以上の教育内容から始まるケースも少なくないので優秀な学生を多く輩出するのは当然のことである¹⁴。

(表 1) 台湾の学制 (中等教育司、高等教育司および技術及職業教育司)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16		
国民教育司									中等教育司			高等教育司					
小学校 (国民小学)									高級中学			大学(大学、学院)					
									技術及職業教育司								
									職業高校 (高級職業学校)			大学 (4年制科技大学、 技術学院)					
												短大 (2年制専 科学校)		大学(2年 制技術学 院)			
高等専門学校 (5年制専科学校)																	

(注) 大学院(台湾では研究所と呼称)部分は省略。

VI. 職業系大学類別における餐旅類の新設

高雄餐旅の創立から餐旅類が統一入学測驗(技術及職業司所管の大学で行われる日本のセンター試験に相当)に登場したのは2002年度技職校院入学測驗四技二専からである。台湾の大学入試制度は、高級中学から高等教育司所管の一般大学に進む大学招生委員会連合会の主催する連合試験と高級職業学校から技術学院・科技大学に進む学生が受験する統一入学測驗の2種類がある¹⁵。

¹⁴ 大学招生委員会聯合会 [http://univ.edu.tw/GroupDetail2.asp?Group=外語學群
&Dept=日本語文學系](http://univ.edu.tw/GroupDetail2.asp?Group=外語學群&Dept=日本語文學系)

職業系大学では「応用日語系」、一般大学では「応用日語学系」に分けられる。

¹⁵ 技専校院入学測驗中心 <https://www.tcte.edu.tw/four/majtype107.php>
大学招生委員会連合会 <http://www.jbcrc.edu.tw/>

(表2) 大学及び技術学院・科技大学・専科学校数

高等教育司所管	校数	技術及職業教育司所管	校数
国立大学	32校	国立4年制技術学院	13大学
公立大学	1校	私立4年制技術学院	58大学
私立大学	37校	国立2年制又は5年生専科学校	2校
合計154校		私立2年制又は5年生専科学校	11校

(出所) 技専校院入学試験中心、大学招生委員会連合会のホームページ等を参考に筆者が作成した。

表2を見ると、高等教育司所管大学数(70校)と技術及職業教育司所管大学数(84校)を比べると過半数が技術職業系大学であることがわかる。高等教育司所管の大学は全体の45パーセントであり、少数であることがわかる。

(表3) 2018年度四技二専統一入学試験群(類)別受験者数

No.	学群名(類別)	受験者数	No.	学群名(類別)	受験者数
01	機械群	9213	13	家政群生活応用類	5331
02	動力機械群	5044	14	農業群	2120
03	電機與電子群電機類	4658	15	外語群英語類	4409
04	電機與電子群資電類	9659	16	外語群日語類	1543
05	化工群	1475	17	餐旅群	21978
06	土木與建築群	2312	18	海事群	289
07	設計群	11446	19	水産群	300
08	工程與管理類	660	20	藝術群影視類	1625
09	商業與管理群	20876	51	電機與電子群	2359
10	衛生與護理類	3618	52	家政群	710
11	食品群	1658	53- 56	商管外語群 (一)-(四)	2931
12	家政群幼保類	1924	56	合計	116,138

(注) 技専校院入学測驗中心 <https://www.tcte.edu.tw/four/majtype107.php> を参照のこと。
なお商業管理外語類(商管外語類)は1から4までの分類があるが名称が同じであるので合算した。

2018年度四技二専統一入学測驗群(類)別受験者数を見ると受験者総数11万6138人のうち、餐旅類の大学・学科の受験者数は23の類別の中で最も多いことにおどろかされる¹⁶。餐旅類に分類される学科を持つ高級職業学校は台湾全体で129校におよぶ¹⁷。技術及職業司所管の高級職業学校は270校であるので、ほぼ半数の学校に餐旅類の学科があることになる¹⁸。表4は、餐旅類の拠点校である高雄市三民家事商業高級職業学校観光事業科のカリキュラムである。商業科でありながらホテルや旅行社、レストランなどの実務教育が取り入れられていることが注目される。

16 技専校院入学測驗中心(2018年度) <https://www.tcte.edu.tw/four/majtype107.php>

17 技術型高級中等学校群科課程総体課程計画オンライン志願系統(餐旅群)
http://vs.tchcvs.tc.edu.tw/plan/inquiry.asp?year_select=107&main=inquiry&minor=inquiry_dept&group=餐旅群&dept=A

18 技術型高級中等学校群科課程総体課程計画オンライン志願系統(全体)
http://vs.tchcvs.tc.edu.tw/plan/inquiry.asp?types=A&main=inquiry&minor=inquiry_school&county=A&rules=A&founds=A

(表4) 高級職業学校観光事業科課程綱要
(餐旅類新設時期対応カリキュラム)の一例

	課程名称	単位数	授業時限数					
			1年次		2年次		3年次	
			前期	後期	前期	後期	前期	後期
専門及び実習科目	商業概論	4	2	2				
	初級会計学	4	2	2				
	観光英語会話	12	2	2	2	2	2	2
	観光日本語会話	12	2	2	2	2	2	2
	計算機応用	4			2	2		
	旅館(ホテル)管理	4			2	2		
	旅遊(旅行)実務	4			2	2		
	餐飲(レストラン)実務	4					2	2
	客房(客室)実務	4					2	2
	観光概要	4	2	2				
	飲料とバーテンダー	6					3	3
小計	62	10	10	10	10	11	11	

(出所)高雄市立三民家事商業高級職業学校観光事業科カリキュラム標準より

従来、観光や餐旅といった領域は家政類に属し、一般的には認知されていなかったが、2002年春に実施された連合試験(統一入学測驗)から正式に分類に餐旅類が追加された。現在では表5にあるように84校ある職業系大学のうち、62校の職業系大学に餐旅類の学科を有する大学がある。じつに73パーセントの大学におよぶ。

(表5) 教育部技術及職業教育司所管大学餐旅類別学科設置校
(大学59、専科学校1)

国立屏東科技大学、国立高雄科技大学、国立虎尾科技大学、国立澎湖科技大学、国立勤益科技大学、国立台北護理健康大学、国立高雄餐旅大学、国立台中科技大学、国立屏東大学、朝陽科技大学、南台科技大学、崑山科技大学、嘉南藥理大学、樹德科技大学、龍華科技大学、輔英科技大学、明新科技大学、弘光科技大学、正修科技大学、健行科技大学、萬能科技大学、建國科技大学、高苑科技大学、大仁科技大学、聖約翰科技大学、嶺東科技大学、中國科技大学、中台科

技大学、台南応用科技大学、遠東科技大学、元培医事科技大学、景文科技大学、中華医事科技大学、東南科技大学、徳明財經科技大学、南開科技大学、中華科技大学、僑光科技大学、育達科技大学、美和科技大学、吳鳳科技大学、環球科技大学、中州科技大学、長庚科技大学、大華科技大学、台北城市科技大学、醒吾科技大学、文藻外語大学、華夏科技大学、慈濟科技大学、致理科技大学、宏国徳霖科技大学、東方設計大学、崇右影藝科技大学、台北海洋科技大学、大漢技術学院、和春技術学院、亞東技術大学、南亞技術学院、黎明技術学院、經國管理暨健康学院、大同技術学院、国立台東專科学校

(出所) 技職校院入学測驗中心 <https://www.tcte.edu.tw/>

現在では4年制大学部(全日制)の場合、大学1、2及び4年次を大学内で過ごし、3年次は航空会社、旅行社、ホテル、レストランなど校外実習規則に基づき合作企業として登録された200前後の実習企業で給与を得ながら1年間の校外実習に臨む。これは企業との強い信頼関係に加えて、実習開始後、直ちに現場で能力を発揮できるだけのスキルを1、2年次に身につけておかなければならない。これは創立者の李福登教授の理念である「没有白吃的午餐」、つまり「ただで食べられる昼食などない」という実務能力がない者は実習にも行けないし、実務能力があるものは卒業後、企業に次長級のポストで迎えられるケースもあるという究極の考え方がある¹⁹。

¹⁹ 李福登教授は台南家事専科学校学長をつとめた後、国立高雄餐旅管理専科学校を1995年12月に創立し、2000年8月からは国立高雄餐旅学院学長を2006年までつとめた。現在は東方設計大学董事長(理事長)を勤めている。

<http://www.tf.edu.tw/tw/understanding-the-east/2014-10-28-04-18-43/present-chairman.html>

李福登教授は「餐旅教育之父」と賞され、教育部から台湾教育史初の「技職教育貢献賞」受賞者となった。<https://news.ltn.com.tw/news/local/paper/397158>

VII. 高等教育司所管大学への波及

さらにおどろくべきことは、高等教育司所管の一般大学にも観光類の学科が設置されるようになったことである。2018年現在ではこの実数は増加しているが、技職校院入学試験中心主催の統一入学試験に餐旅類が新設された時点でのリストを紹介しておきたい。これほど、餐旅類の登場が大きな衝撃があったのであって、餐旅と観光は台湾の教育界にとって中心的な存在になったといえる。かつては30万人いた18歳人口も18万人を下回る少子化が進み、医療系大学を除き研究型大学は競争力を失ってきたという時代を迎えたので、苦肉の策で観光系学科を設置する大学もある。ただ、中国文化大学は最も古い歴史を持つ研究型観光学の学科を持つ大学をもつので一概に他の例と混同できない。

(表6) 高等教育司所管大学観光類一覧

	大学名	修士課程名・学科名	所在地
1	国立台湾師範大学	運動與休閒管理研究所 家政教育研究所餐飲組	台北市和平東路一段162号
2	国立東華大学	運動與休閒管理研究所 觀光・遊憩管理研究所	花蓮県寿豊郷志学村大学路二段1号
3	私立南華大学	旅遊事業管理学研究所	嘉義県大林鎮中坑里中坑32
4	私立輔仁大学	生活応用科学系餐旅管理組	新北市新莊区中正路510号
5	私立実践大学	観光管理系	高雄県内門郷大学路200号
6	私立中華大学	旅館與餐旅管理学系	新竹市東香里東香30号
7	私立銘伝大学	観光研究所 観光事業系 休閒遊憩管理学系 餐旅管理学系	桃園市龜山区大同村德明路5号
8	私立中国文化大学	觀光事業研究所 觀光事業系	台北市華岡路55号
9	私立静宜大学	觀光事業研究所 觀光事業系	台中市沙鹿区中棲路200号
10	私立世新大学	觀光学系餐旅事業管理組	台北市木柵路一段17巷1号
11	私立真理大学	觀光事業学系 餐旅管理学系 休閒事業学系 航空管理学系	新北市淡水区真理街32号
12	私立大葉大学	休閒事業管理研究所 休閒事業管理学系	彰化県大村郷山脚路112号
13	私立東海大学	餐旅管理学系	台中市台中港路三段181号
15	私立開南大学	觀光與餐旅旅館学系	桃園市蘆竹区開南路1号

(出所) 大学入学考試中心 <http://www.ceec.edu.tw/> を参照されたい。

VIII. 周防地区と高雄・台南・屏東地区の交流のための拠点案

餐旅教育に照らして同様の教育システムを導入することは、膨大な初期投資が必要となる。例えば、実地シミュレーション設備などの整備が必要になる。しかし、拠点としてソフトの面において既存のつながりを生かすことによって両地域の橋梁になることは費用もかからず実践に取り組むことができるメリットがある。例えば、山口県高等学校教育研究会に属する全学校と高雄・台南・屏東地区にある職業系高校及び高級中学(普通高校)の姉妹縁組のアレンジをすることから始めるとすると、教育(修学)旅行の来県者、および県内高校の台湾渡航者数が相互に増加することが見込める。また、ネット環境を駆使し、現地での商品の売り込み会議などのアレンジもできる。

本章ではこれまで蓄積してきたつながりの一部を紹介する。

1. 物産の相互交流

人口280万人の高雄市を拠点にスーパーマーケットを11店舗展開する愛国関係企業は高雄市では中規模の物流企業である。関係企業にはコーヒESHOPや物流センター、また物流エクスプレスという雑誌も運営している。物販というきわめて具体的な実践が可能である上、同社は農業委員会(農業省)動植物検疫局を通じた農産物や食品、酒類の相互販路拡大の拠点として、両地域の拠点の役割を担う希望を持っている。



2014年度 OSP(B)実施



2015年度 防府市の醤油の売り込み
スーパー売り込み

交流の実績は2014年度から続くものであり、ぜひ実現したいと思う。商業教育の実践の場としてはきわめてよいつながりであると考えられる。



2016年度 醤油売り込み

2. 周防地区の日本酒の売り込み及び日台観光論壇の相互開催

2016年度に高雄市と周南市の交流として日台湾観光論壇を相互に開催した。高雄での開催は教育部補助及び周南市の予算による開催であり、周南市での開催は教育部の補助で実施された。



日本酒売り込み事前打ち合わせ(2016年6月)



日台觀光論壇(2016年7月開催)



台日觀光論壇(2016年10月開催)

3. 免税店誘致に関する取り組み

この取り組みは2015年5月に日本の免税品企業の経営者の店舗展開について具体的な提案を受けて、周南地区に店舗を誘致する取り組みが可能ではないかと模索しており、徳山商工高校を拠点に様々に想定できる取り組みができるのではないかと思う。



2015年旧永達技術学院校舎利用の試み



經濟部(省)所管の高雄港埠頭借り受けの試み

4. 地元金融機関を拠点とする両地域の連携強化の取り組み

2014年度から西京銀行との協働で台湾市場の開拓に取り組んでいる。その成果の展示会が2015年9月に台湾で開催された際に、平岡英雄頭取及び金丸眞明副頭取の同行で台湾横河を訪問し、世界企業である横河との交流を軸に周南と高雄の高次の交流につなげる取り組みを始めた。これは徳山大学の学生にとっ

ては、すばらしいトップセールスの見学の場であり、銀行の経営者のトップセールスをアレンジするという奇抜なものであり、特筆すべき機会であったと考えられる。



2015 金融機関拠点の交流推進 西京銀行 平岡頭取、金丸副頭取(台湾横河)

5. 化学企業及び教育機関間交流の推進

周南市と高雄市はいずれも精油や化学工業を軸に発展してきたので、化学を軸に交流ができないか提案したいと考えている。(2015年度実施) 1986年にノーベル化学賞を李遠哲博士が受賞するなど、化学分野は国際的にも最先端のレベルにある。高雄市高雄工業職業学校には化学工程科があり、毎年たくさんの人材を輩出している。徳山商工高校にも化学コースがあるので、両校を結んで高次の交流の機会を持つことができると思う。



2015 高雄工業高級職業学校化学工程科 華宏化学張董事長、葉總經理(社長)表敬訪問

その他、4項目の展開案が進行中であるが、これらのことについては、より具体的になってから、別の機会で報告したいと思う。

X. まとめにかえて～日本の職業学校と職業系大学の高大接続の強化

本稿の提言としては、日本も大学段階を高等教育局所管でなく、初等中等教育局内の職業高校所管する部局と一括所管するような職業大学をつくるイメージをうかべてもいいのではないかと思う。台湾の職業高校分類には23類の類別科があり、高大接続の7年間できわめて高いスキルが身につけられる制度が整えられている。これらの先進例を参考にしながら、スーパープロフェッショナルスクール(SPH)の取り組みとして、緊密な高大接続連携で実務的経験が得られるようなシステムを徳山大学と徳山商工高校が協働して構築したいと思うし、これまで蓄積した台湾を拠点とした協働事業の展開をばねに、さらに香港や中国、東南アジアへとつながる高大が拠点となることを期したい。筆者7人は、引き続き緊密な連携を取りながら高次の地域間交流に取り組みたいと思う。

【参考資料】

- 紙矢健治(2007)「台湾の職業系大学におけるインターンシップ教育の現状：観光系教育機関サンドイッチ教学」『産業教育学研究』(第37巻第1号) 東京：日本産業教育学会、p63-70。
- 観光甲子園ホームページ <http://www.kanko-koshien.com/final/>
文部科学省スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/shinkou/shinko/1366335.htm
School of Hotel Administration, <https://www.cornell.edu/>
<https://sha.cornell.edu/>
- 紙矢健治等(2013)「台湾餐旅教育簡史(1977-2001)李福登氏の貢献を中心に」『徳山大学論叢』(76号)、p105-118。
<http://ypir.lib.yamaguchi-u.ac.jp/tu/Detail.e?id=93520130704144817>
- 国立高雄餐旅大学 <https://www.nkuht.edu.tw/>
Ecole hôtelière de Lausanne ローザンヌホテルスクール <https://www.ehl.edu/>
IWSC ホームページ <https://www.iwsc.net/>
サントリー <https://www.suntory.co.jp/whisky/distillery/isc/>
Vinalies Internationales <https://vinalies-internationales.com/fr/>
自由時報 (2019年3月) <https://news.ltn.com.tw/news/life/paper/1272967>
教育部 https://stats.moe.gov.tw/files/ebook/Education.../104edu_appl.pdf
育達教育中心 <http://2016.twowin.com.tw/submenu/index/top-student-favorite/1194>
大学招生委員会聯合会 <http://univ.edu.tw/GroupDetail2.asp?Group=外語學群&Dept=日本語文學系>
- 技専校院入学測驗中心 <https://www.tcte.edu.tw/four/majtype107.php>
大学招生委員会連合会 <http://www.jbcrc.edu.tw/>
技専校院入学測驗中心 (2018年度) <https://www.tcte.edu.tw/four/majtype107.php>
技術型高級中等学校群科課程総体課程計画オンライン志願系統(餐旅群)
http://vs.tchevs.tc.edu.tw/plan/inquiry.asp?year_select=107&main=inquiry&minor=inquiry_dept&group=餐旅群&dept=A
- 技術型高級中等学校群科課程総体課程計画オンライン志願系統(全体)
http://vs.tchevs.tc.edu.tw/plan/inquiry.asp?types=A&main=inquiry&minor=inquiry_school&county=A&rules=A&founds=A
- 東方設計大学
<http://www.tf.edu.tw/tw/understanding-the-east/2014-10-28-04-18-43/present-chairman.html>